

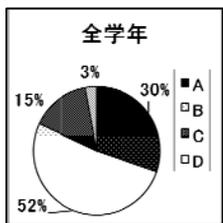
かけはし

学校教育アンケート結果

保護者の皆様にご協力いただいた学校教育アンケートの結果を報告します。紙面の都合上、いただいた意見につきましては要約して掲載します。なお、回収率は、低学年が89%、中学年が85%、高学年が62%、全体で78%でした。

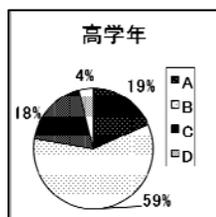
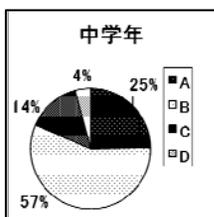
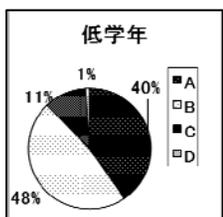
- A あてはまる
- B どちらかといえばあてはまる
- C どちらかといえばあてはまらない
- D あてはまらない

1 学校は、基礎学力を定着させる取組やコミュニケーションを育成する取組等、特色ある教育活動を行っている。



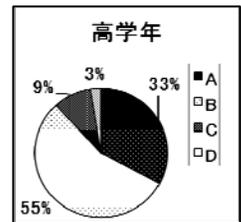
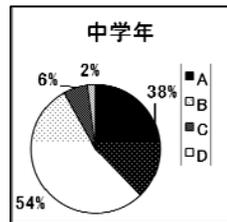
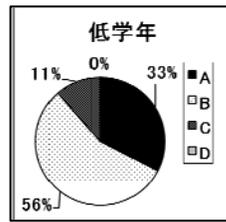
「10分間ひたすら取り組む子どもたちの姿、集中力にとっても感心させられました。わずか10分間の小さな頑張りが、子どもたちの大きな成長につながることを信じ、親として温かい目で応援していきたいものです。」と、夏の五小新聞『ひびき』に基礎基本の時間の取組が紹介されています。今後も、参観や懇談等を通して、保護者の理解・協力を得られるよう努力しながら、取組を進めていきます。

2 子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている。



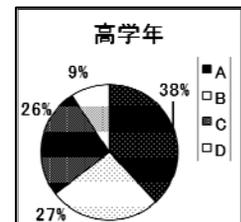
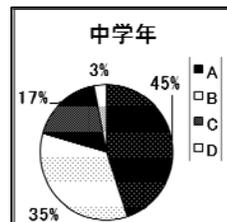
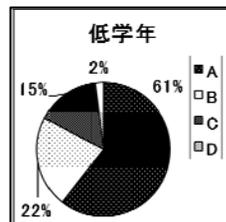
かけ算九九の $3 \times 8 = 24$ の覚え方について、「さんばにじゅうし」なのか「さんばにじゅうよん」なのか、はたまたどちらでもいいのか、子どもが迷っている。子どもに、「習ったのと違う。」と言われることがあるので、重要な単元(九九など)は参観でもしてもらえとうれしい。という意見がありました。子どもも親も不安を持ちながらの学習であることを再認識し、不安が自信につながるような授業になるよう、日々の努力を続けます。

3 子どもに、人を思いやる心や生命を大切にする心、ルールやマナーを守る規範意識等が育ちつつある。



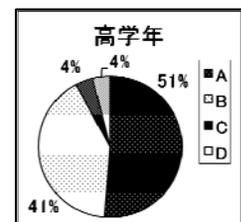
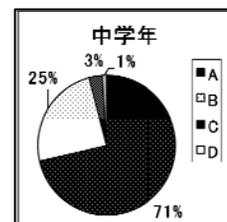
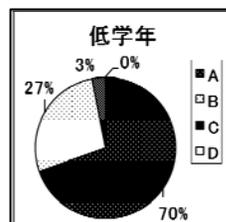
パーマも茶髪も禁止になっているはず。学校から出されている約束事については、ダメなものダメと、どの先生方も協力して、ぶれずに厳しく粘り強く指導してほしい。学校内でのお菓子の件など、保護者の協力が必要なときは遠慮なく言ってもらって、家でのしつけを学校におしつけることのないようにしたい。と言った意見がありました。学校と家庭が連携しながら、人としての大切な心を育てていきましょう。

4 子どもは、自分から進んで体を動かそうとしている。



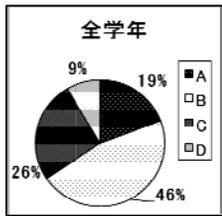
駅伝、水泳、陸上など、競技を通して競争力がつき、文武両道の精神が生まれる。また、大会に出ることで広い視野で物事をとらえることができる。ボランティア講師との協力も考えながら取組を進めてほしい。という意見がありました。様々な機会を通じて、運動することが楽しい、好きと答える子どもを増やしていきましょう。

5 子どもは、児童会活動や学校行事を楽しみにしている。



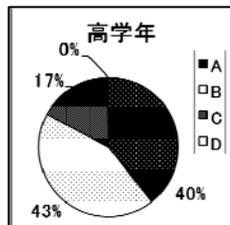
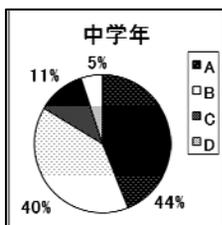
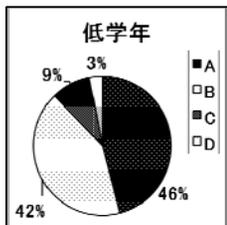
耐寒駆け足など、子どもと一緒に活動できる時は先生方も一緒にしてほしい。という意見がありました。特別な事情のない限り、子どもと共に活動！をモットーに頑張っていますので、ご理解ください。

6 五小の子どもたちは、元気にあいさつをしている。



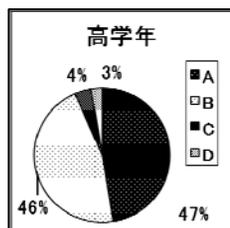
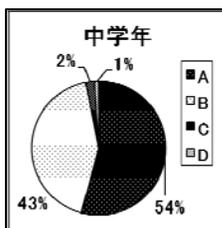
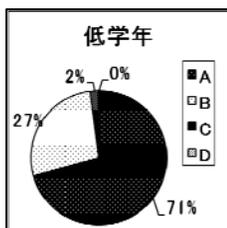
自分から進んであいさつをする児童が少ない。子ども同士のあいさつができていない。旗持ち当番で立っていても、あいさつの声に元気がない、あいさつしても返事が返ってこない。スーパーなどで出会っても先生こそあいさつしてくれない。等の意見がありました。人との触れ合いを深めたり、感謝の気持ちを表したりするあいさつの声が、少しでも多く、大きくなるように取組を続けます。家庭や地域の中での声かけも引き続きよろしくをお願いします。

7 子どもは、早寝早起き朝ご飯を実行している。



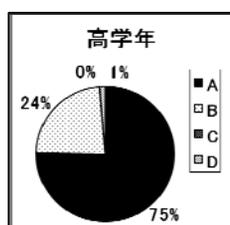
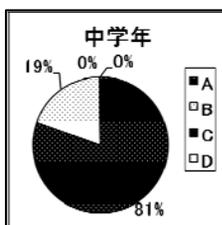
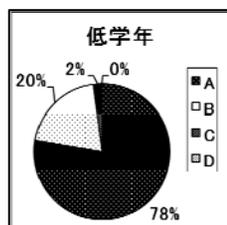
今年初めて設けた項目です。特に意見はありませんでしたが、基本的な生活習慣は、落ち着いた生活態度の育成や学習意欲の向上につながります。是非、各家庭での協力をお願いします。

8 子どもは、学校や学級が楽しいと言っている。



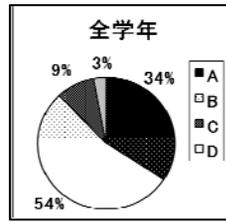
学校は楽しいので休みたくない。学校で何をしたら家でよく話すので、楽しいようだと言っている。等の意見がある反面、クラス内の問題の話し合いで授業が進まず不安だ。という意見もありました。一日のうち三分之一を過ごす学校生活、同じ時間を過ごすのであれば楽しく一日一日が送れるように、それが子どもたちに伝わるように、日々の取組を続けてほしい。という願いを受けて、子どもたちの笑顔が輝く学校作りを目指します。

9 子どもには、仲のよい友達がいる。



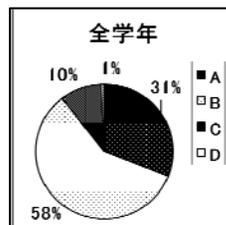
一生のうちで、何人の人に出会い、何人の人と友達になれるのでしょうか。支え合い、励まし合い、互いに高め合える友達を、一人でも多く作りたいものです。家庭でも、「あなたのとなりにひとりぼっちでいる人はいない？」と、時に子どもに聞いてあげてください。

10 教職員は、人権を大切に、いじめのない学級・学校作りに取り組んでいる。



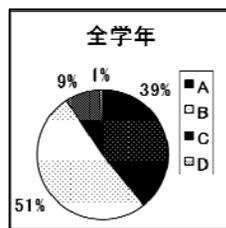
娘がいやがらせを受けないか心配していたが、一度もそんなことがなく男の子とも仲良くしている。学校の取組や保護者の受け止め方など、まだまだ理解できないところがあるが、担任の先生が子どもの話をきちんと聞いて、子どもを信じてくれていることが救いである。といった意見がありました。すべての教育活動を通じて、人権を大切にすることを育てていきます。

11 学校は、安全管理を行うとともに、校舎内外の美化に努めている。



安全管理はできていると思うが、登下校時の様子を見てみると危ないと思えるときがある。という意見がありました。子どもの事故を防ぐために、私たち大人は細心の注意を払わなければなりません。子どもの安全を最優先に考えて、学校・家庭・地域の連携を深めていきましょう。

12 学校は、保護者や地域との連携を図っている。



地域の中でもまだ知らない人がいる。連絡網が回らず連携がうまくいっていない。PTA活動を活発にし、親同士のつながりを深めていく努力が必要。親や地域とつながろうとする学校の努力が感じられる。といった意見がありました。子どもを中心にした、保護者・地域・学校の連携の輪を広げていくためにも、積極的に情報交換を行っていきましょう。

13 その他いただいた意見

- ・学校アンケートを生かしてどういう改善ができたのか教えてほしい。
- ・卒業生の様子を見たり、高学年の様子を見てもらったり、中学校との交流の機会を多くできないか。
- ・10月～11月に、先生方の研修や出張で丸一日自習となることがある。何とかならないか。
- ・派手ではない黒色や紺色の靴下を許可してほしい。
- ・物事の本質、善悪、一日を大切にしている心、今この時を一生懸命生きることなど、子どもたち自身が自分の言葉で本音を語り、心に刻むような時間を持ってほしい。

なかなか満足と言える状況にはならないかもしれませんが、いただいた意見をもとに改善に向けての努力を続けていきます。今後も、参観、懇談、「かけはし」等、様々な機会を通じて学校の様子を知っていただき、新たに改善すべき点などを教えていただくと幸いです。